TOTO

東陶機器株式会社

修理・取扱いのご相談は
まずお求めの取付店・販売店へ

取付店	〒 印
販売店	電話　　—

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

商品のお問い合せは

TOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間：平日　9:00-18:00
土・日・祝日　10:00-18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

補修用部品のご購入は

お近くのDIY・ホームセンター、お求め取付工事店
又はTOTOパーツセンターへ
0120-8282-55
受付時間：平日　9:00-18:00
土・日・祝日　10:00-18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

修理の依頼・お問い合せは

東陶メンテナンス（株）へ
0120-1010-05
受付（年中無休）
受付時間：関東・甲信越地区　8:00-20:00
上記以外の地区　9:00-20:00
訪問修理（年中無休）
営業時間：　9:00-18:00

インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/
本社 〒802-8601 北九州市小倉北区中島 2-1-1　tel: 093（951）2111

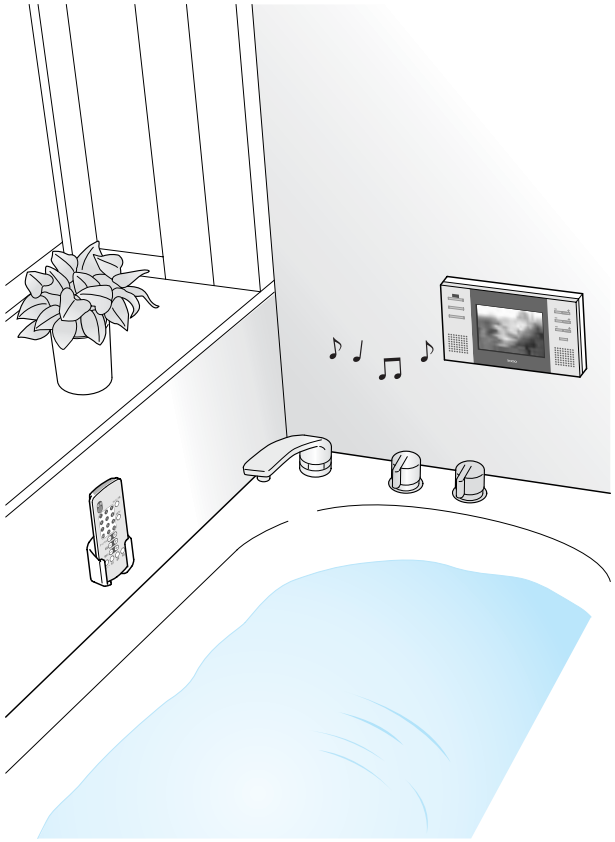
EKL21016/J06226　2003.1

TOTO

取扱説明書 保証書付

浴室テレビ

EKK30029
PTZ0010



このたびは、TOTO浴室テレビをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
この説明書をよくお読みのうえ、正しいご使用をお願いします。この説明書は最終ページが保証書になっています。大切に保管しておいてください。

はじめに
安全上のご注意 …… 1
使用上のご注意 …… 3
付属品の確認 …… 4
各部のなまえとはたらき …… 5

つかいかた
テレビをみる …… 9
明るさを調整する …… 11
一時的に音を消す …… 11
チャンネル表示を切換える …… 12
音声を切換える …… 12
FM放送をきく …… 13
一時的に音を消す …… 13
音質を調整する …… 15

必要なときに
テレビの受信チャンネルを設定する …… 16
オート設定する …… 17
マニュアル設定する …… 19
FM放送の受信チャンネルを設定する …… 21
その他の調整をする …… 23

こんなときは
こんなときは …… 26
お手入れのしかた …… 26
主な仕様 …… 27
故障かな？と思ったら …… 28
保証について …… 29
修理のご相談は …… 29
保証書 …… 30

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

この説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られる場所に保存しておいてください。

●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

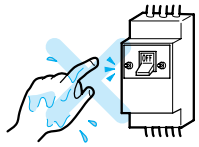
●お守りしていただく内容を絵表示で示し、
その意味は次のようになっています。

絵表示	意　味	絵表示	意　味
	分解禁止		必ず行う
	触れるな		注意喚起
	一般的な禁止		

⚠ 警告

ご自身で分解、修理、改造を行わない。
感電や火災のおそれがあります。
※修理はお求めの販売店・取付工事店に依頼してください。

ぬれた手で屋内開閉器（ブレーカー）をさわらない。
感電のおそれがあります。



万一、煙が出る・変なにおいがした場合は、ただちに使用をやめ、屋内開閉器（ブレーカー）にて電源を切ってください。
感電や火災、事故のおそれがあります。ただちにお求めの販売店・取付工事店または東陶メンテナンス
０１２０－１０１０－０５（フリーダイヤル）にご相談ください。

⚠ 注意

雷が発生した際は屋内開閉器（ブレーカー）にて電源を切る。
雷による過電流で電子部品が破損するおそれがあります。

製品が確実に取り付けられているか確認する。
漏水のおそれがあります。確実に取り付けられていない場合は、お求めの販売店・取付工事店にご相談ください。

ケースが割れた、画面が映らないなどこわれたままで使用しない。
感電や火災、事故のおそれがあります。

ご自身で取付位置を変更しない。
感電や火災、漏水のおそれがあります。
※変更の際はお求めの販売店・取付工事店にご相談ください。

上に物を置かない。
落下してけがをするおそれがあります。

リモコンの電池はプラス⊕とマイナス⊖に注意して正しく入れてください。
電池の液もれなどにより、周囲が汚れたりするおそれがあります。

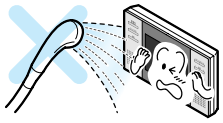
使用上の注意

●機器の故障、破損の原因になりますので、次のことをお守りください。

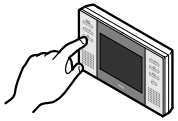
⚠ 注意

テレビ本体とリモコンについて

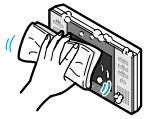
故意に水をかけない。
スピーカー穴に水が溜まり音が小さくなったり、画面に水あかがついたりします。水がかかった場合は早めにふき取ってください。



スイッチは軽く指で操作する。
先のとがったもので操作したり、衝撃をあたえると故障の原因となります。



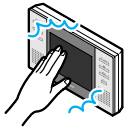
シャンプーなどがついたら、軽く絞った布で拭き、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。
そのまま放置すると変色、故障の原因となります。



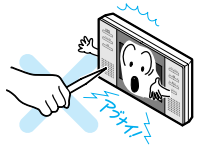
使用温度範囲内で使用する。
使用温度（０～５０℃）をこえた範囲での使用は、故障の原因となります。

テレビ本体について

画面を強く押さない。
画面にムラが出たり、液晶パネル故障の原因となります。



スピーカー部に物を差し込まない
防水機能がこわれ、故障の原因となります。



リモコンについて

リモコンはテレビ本体に向けて操作する。

浴槽に浮かべたり沈めたりしない。
故障の原因となります。

電池交換は水滴をよく拭き取ってから行う。
水が中に入ると故障の原因となります。

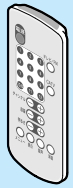
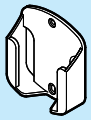
電池ふたは確実にしめる。
故障の原因となります。

落とさない。
故障の原因となります。

リモコンホルダーは日の当たらない所につける。
変色などの原因となります。

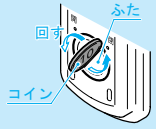
付属品の確認

● 最初に付属品を確認してください。

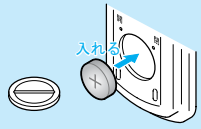
リモコン：１個	リモコンホルダー：１個	ボタン型電池：１個（リモコン用）	取扱説明書（本書）
		電池番号：CR２０３２	

リモコン用電池の入れ方

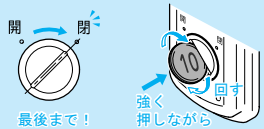
①電池ふたを回してあける。
（コインなどを使用してください）



②電池を入れる。
（プラス⊕を上に！）



③電池ふたを強く押しながら回し最後まで閉める。



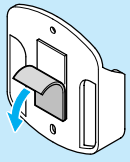
⚠注意

※電池交換は必ず水滴などを拭き取ってから行ってください。
リモコン内部に水が入ると故障します。

リモコンホルダーの取付け方

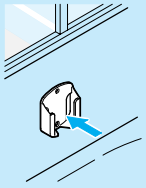
①取付面の汚れや水滴をよく拭き取る。

②裏の両面テープ保護紙をはがす。



③お好みの位置に貼付ける。
※直射日光の当たらない位置に貼付けてください。
※必ず壁に貼付けてください。
※壁のつなぎ部分には貼付けないでください。
※気温の低いときは、両面テープをドライヤーなどであたためてから貼付けてください。

④上から強く押して確実に貼付け、しばらく放置する。
※ねじでの固定は必要ありません。

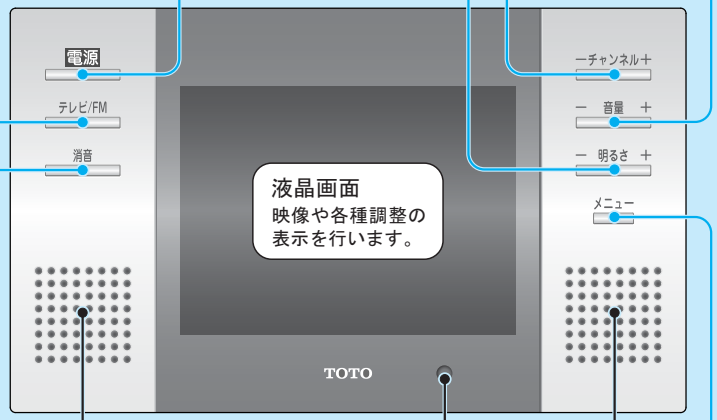


⚠注意

※リモコンが出し入れできることをご確認の上、リモコンホルダー貼付け位置を決めてください。
※リモコンをホルダーに入れた状態ではリモコンの電波はテレビに届きません。リモコンはテレビに向かって操作してください。

各部のなまえとはたらき

テレビ本体



電源ボタン
電源を「入」「切」します。

チャンネルボタン
・チャンネルを順送りで変更します。
・各種設定において、項目を選択します。

テレビ/ＦＭボタン
テレビ放送とＦＭ放送を切換えます。

明るさボタン
明るさを変更します。

音量ボタン
・音量を変更します。
・各種設定において、設定値を調整します。

液晶画面
映像や各種調整の表示を行います。

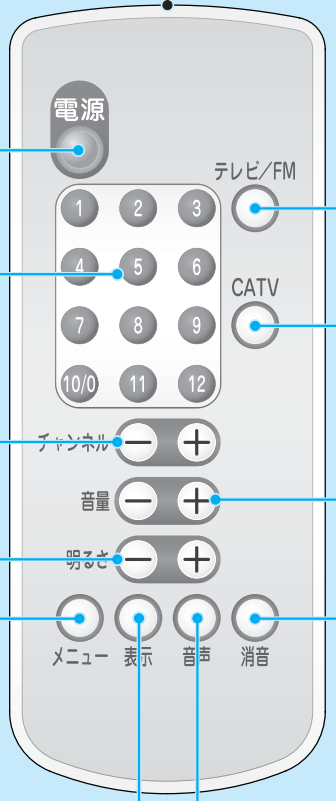
リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。

スピーカー部
音がでます。

消音ボタン
・一時的に音を消します。
・各種設定画面において前の画面に戻ります。

メニューボタン
・各種設定メニューを呼び出します。
・各種設定において、項目を決定します。

リモコン



リモコン発信部
テレビへ信号を発信します。

電源ボタン
電源を「入」「切」します。

テレビ/ＦＭボタン
テレビ放送とＦＭ放送を切換えます。

チャンネル数字ボタン
見たいチャンネルを直接選びます。

ＣＡＴＶボタン
ＣＡＴＶチャンネルを選ぶときに使用します。

チャンネルボタン
・チャンネルを順送りで変更します。
・各種設定において、項目を選択します。

音量ボタン
・音量を変更します。
・各種設定において、設定値を調整します。

明るさボタン
明るさを変更します。

メニューボタン
・各種設定メニューを呼び出します。
・各種設定において、項目を決定します。

消音ボタン
・一時的に音を消します。
・各種設定画面において前の画面に戻ります。

表示ボタン
画面のチャンネル番号表示を切換えます。

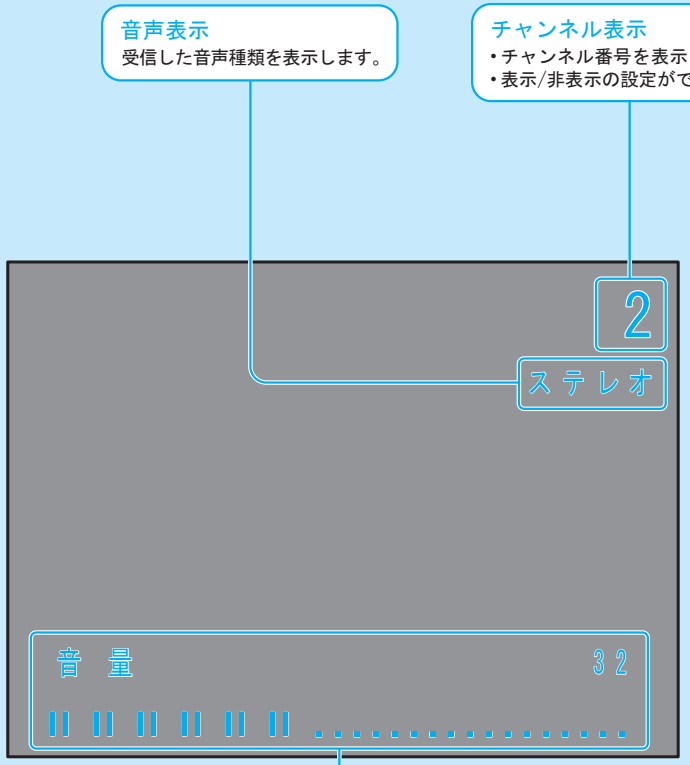
音声ボタン
音声を切換えます。

⚠注意

※リモコンは必ずリモコンホルダーに入れて保管してください。
他の場所に置いた場合、落下や水没のおそれがあり、故障の原因となります。

各部のなまえとはたらき

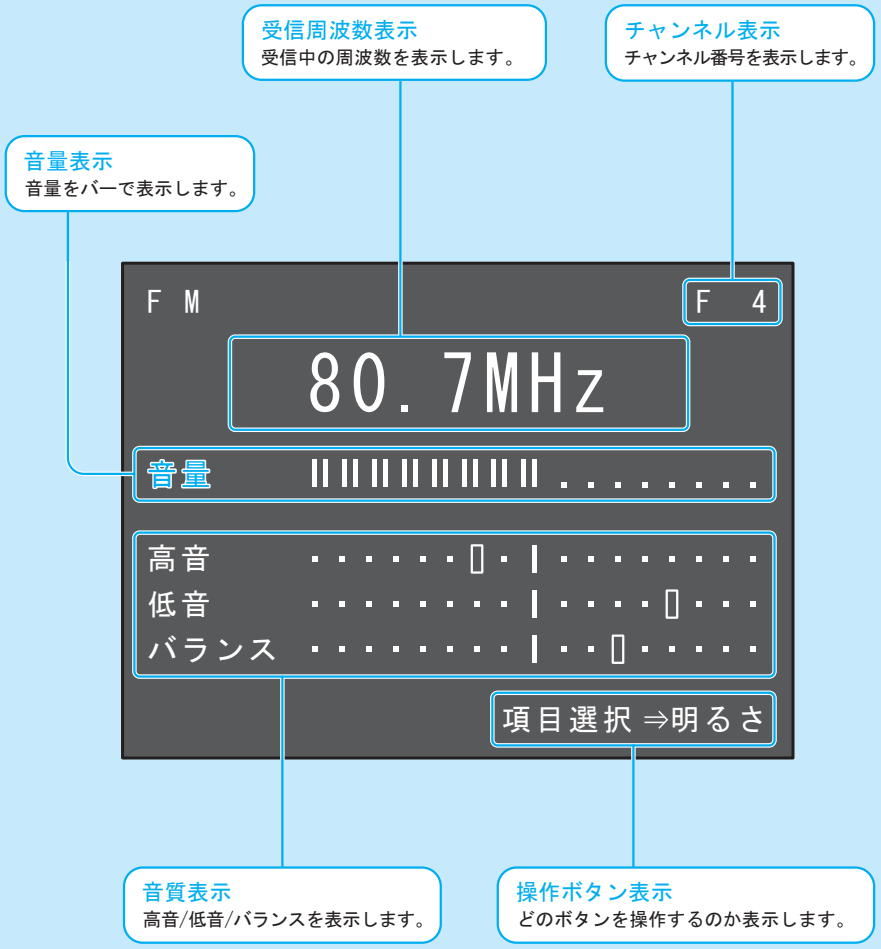
テレビ画面（基本）



•●●●・おしらせ・●●●•

※メニュー画面などでは、各種項目を表示します。

FM画面



テレビをみる

●誤った使い方は事故や故障の原因になります。注意事項をお読みいただき正しくお使いください。
●受信チャンネルの設定については、☞ Ｐ１６をご覧ください。

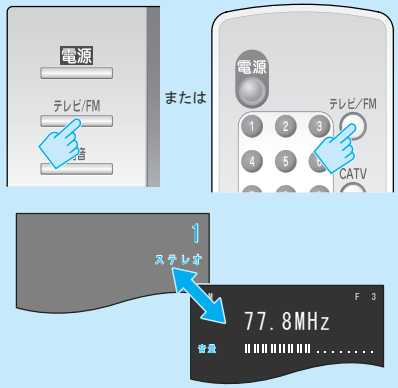
テレビをみる

❶電源を入れる

押すたびに電源を「入」・「切」します。

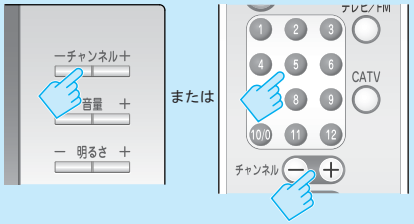
❷テレビ/ＦＭボタンを押す

押すたびに「テレビ」「ＦＭ放送」に切換わります。テレビ画面のときは必要ありません。



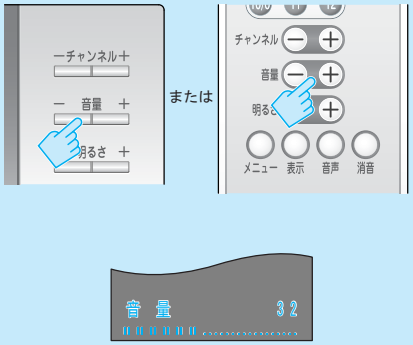
❸チャンネルを選ぶ

「チャンネル＋/－」ボタンは順送りでチャンネルを選べます。
リモコンの「①～⑫」は直接チャンネルを選べます。



❹音量を調整する

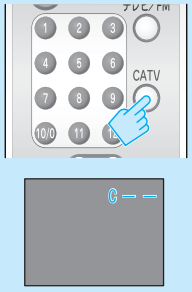
「＋」を押すと大きく、「－」を押すと小さくなります。画面に数字とバーで音量が表示されます。
※約４秒間操作なしで画面表示が消えます。



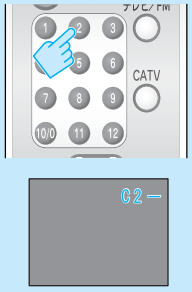
※ケーブルテレビチャンネルを選ぶ（リモコンのみ）

リモコンからの操作のみケーブルテレビチャンネルを直接選ぶことができます。
〈例〉ケーブルテレビ２０チャンネルを選ぶとき

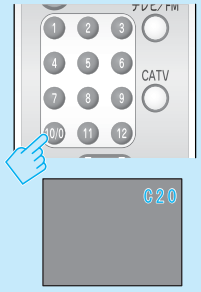
❶「ＣＡＴＶ」ボタンを押



❷「２」を押す



❸「１０/０」を押す
※「１０/０」は０となります。



●●●●おしらせ●●●●

※チャンネル＋/－ボタンでは受信設定していないチャンネルはスキップします。
※リモコンの①～⑫ボタンで受信設定していないチャンネルを選択した場合は、「このＣＨは設定されていません」の表示がでます。
※１３以上のチャンネル番号を設定した場合はチャンネル＋/－ボタンで選んでください。
※電源を切ってもチャンネルや音量などは記憶しています。
※テレビの音量/音質とＦＭの音量/音質は独立しています。それぞれお好みに合わせて調整してください。
※リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンの向きが悪かったり発信部/受光部が汚れている場合には、うまく作動しないことがあります。
※リモコンから選べるケーブルテレビチャンネルはＣ１３～Ｃ６３です。「１０/０」は０となり、関係する数字以外は操作無効となります。約４秒間操作なしで操作無効となります。

⚠注意

⚠ ※テレビからＦＭに切換えたとき、それぞれの設定によっては音量や音質が急激に変化する場合がありますので、ご注意ください。

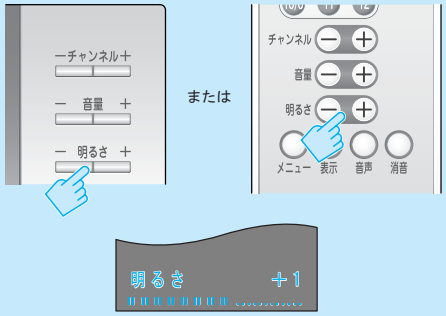
テレビをみる

明るさを調整する

室内の明るさなどにあわせて画面の明るさが調整できます。

❶明るさボタンを押す

「＋」を押すと明るく、「－」を押すと暗くなります。画面に数字とバーで明るさが表示されます。
約４秒間操作なしで画面表示が消えます。

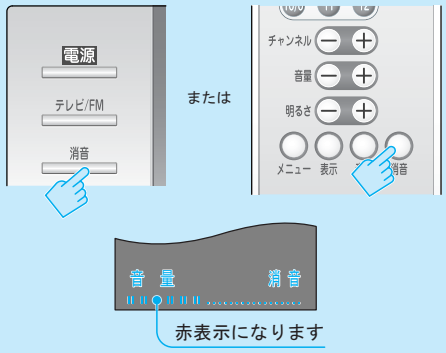


一時的に音を消す（消音）

一時的に音を消すことができます。

❶消音ボタンを押す

画面に赤字で音量とバーが表示されます。もう一度押すか音量ボタンを押すと音がでて約４秒後に表示が消えます。

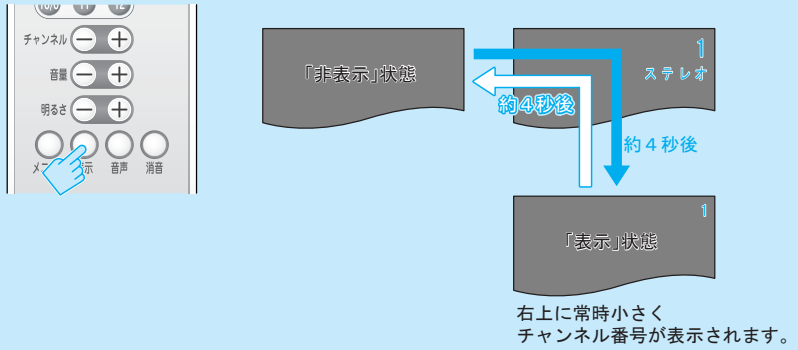


チャンネル表示を切換える

チャンネル表示の表示/非表示を切換えることができます。ここではリモコンでの操作をご説明しますが、メニューボタンからも操作できます。その場合は☞P．２３をご覧ください。

❶表示ボタンを押す（リモコンのみ）

各状態から押すたびに画面右上に大きくチャンネル表示がでて、約４秒後に反対の状態に切換わります。



右上に常時小さく
チャンネル番号が表示されます。

音声を切換える

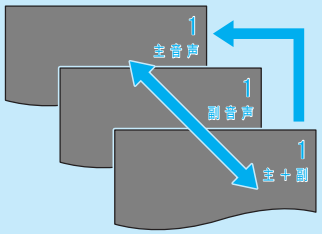
２か国語放送など音声多重放送のときに聞きたい音声を選べます。ここではリモコンでの操作をご説明しますが、メニューボタンからも操作できます。その場合は☞P．２３をご覧ください。

❶音声ボタンを押す（リモコンのみ）

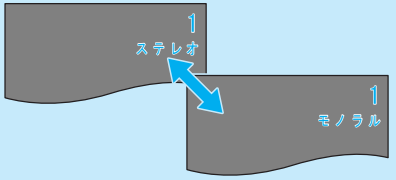
押すたびに下表のように切換わります。

モノラル放送時	切換えなし
ステレオ放送時	ステレオ⇔モノラル
音声多重放送時	┌▶主音声 ➡副音声 ➡主＋副音声┐

【音声多重放送の場合】



【ステレオ放送の場合】



ＦＭ放送をきく

●誤った使い方は事故や故障の原因になります。注意事項をお読みいただき正しくお使いください。
●受信チャンネルの設定については、☞ Ｐ．２１をご覧ください。

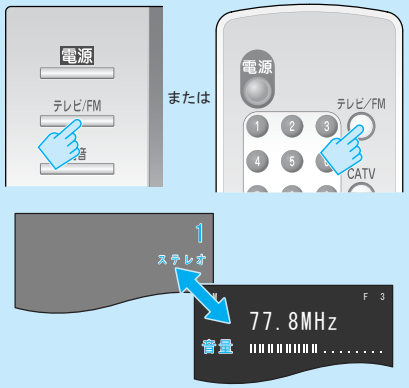
ＦＭ放送をきく

❶電源を入れる

押すたびに電源を「入」・「切」します。

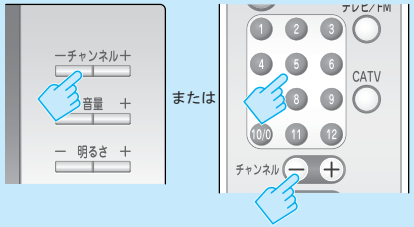
❷テレビ/ＦＭボタンを押す

押すたびに「テレビ」「ＦＭ放送」に切換わります。FM画面のときは必要ありません。



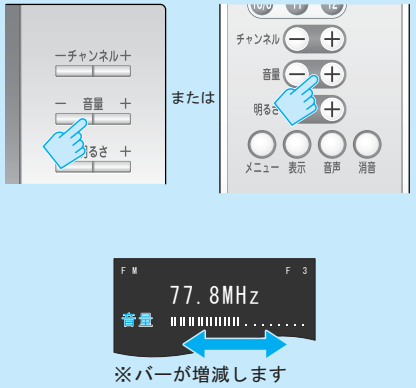
❸チャンネルを選ぶ

「チャンネル＋/－」ボタンは順送りでチャンネルを選べます。
リモコンの「①～⑫」は直接チャンネルを選べます。



❹音量を調整する

「＋」を押すと大きく、「－」を押すと小さくなります。
画面のバーの大きさが目安となります。



※バーが増減します

一時的に音を消す（消音）

一時的に音を消すことができます。

❶消音ボタンを押す

画面のバーが赤表示になり消音と表示されます。もう一度押すか音量ボタンを押すと音がでてもとに戻ります。

•●••おしらせ••●••

※チャンネル＋/－ボタンでは受信設定していないチャンネルはスキップします。
※リモコンの①～⑫ボタンで受信設定していないチャンネルを選択した場合は、「このＣＨは設定されていません」の表示がでます。
※電源を切ってもチャンネルや音量などは記憶しています。
※テレビの音量/音質とＦＭの音量/音質は独立しています。それぞれお好みに合わせて調整してください。
※リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンの向きが悪かったり発信部/受光部が汚れている場合には、うまく作動しないことがあります。

⚠注意

⚠ ※テレビからＦＭに切換えたとき、それぞれの調整によっては音量や音質が急激に変化する場合がありますので、ご注意ください。

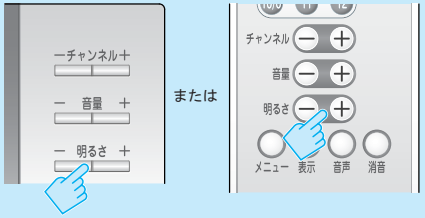
ＦＭ放送をきく

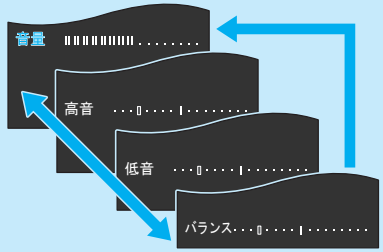
音質を調整する

お好みにあわせて簡単に音質が調整できます。

❶明るさボタンを押す

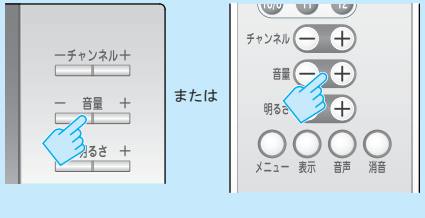
「＋」「－」を押すと、音量⇔高音⇔低音⇔バランスと調整項目が選択できます。
約１０秒間操作なしで音量に戻ります。

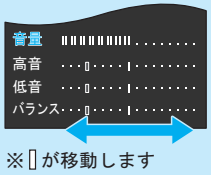




❷音量ボタンを押す

「＋」「－」を押すと、選択した項目の調整ができます。
約１０秒間操作なしで音量に戻ります。





※▯が移動します

・●・●・おしらせ・●・●・

※テレビの音量/音質とＦＭの音量/音質は独立しています。それぞれお好みに合わせて調整してください。

⚠注意

⚠ ※ テレビからＦＭに切換えたとき、それぞれの調整によっては音量や音質が急激に変化する場合がありますので、ご注意ください。

テレビの受信チャンネルを設定する

●受信設定をする前に・・・・

ＶＨＦ１～１２は工場出荷時に設定済みです。以下の場合に調整してください。

- ●ＵＨＦ/ＣＡＴＶ放送が受信できる地域
- ●転居などで一度設定したチャンネルが異なる場合
- ●自分で好きなようにチャンネル設定したい場合

【方法１】オート設定

●特にお好みがない場合、この「オート設定」が便利です。
お住まいの地域で受信できる放送チャンネルを探しながら、自動的に記憶します。
記憶可能な受信チャンネル数は最大２９です。チャンネル番号１３以降に記憶された受信チャンネルは順送りチャンネルボタン「＋」「－」でご覧いただけます。

●ＶＨＦ/ＵＨＦ/ＣＡＴＶ混在地区では「オート設定」をすると、チャンネル番号３以降でＶＨＦ放送の受信がない番号からＵＨＦやＣＡＴＶのチャンネルを設定していきます。
〈例〉ＶＨＦ１．４とＵＨＦ１９とＣＡＴＶ２０チャンネルが放送されている地域では次のように設定されます。

チャンネル番号	１	２	３	４	５	...
受信チャンネル	１	空	１９	４	Ｃ２０	

【方法２】マニュアル設定

オート設定後、次のような変更したい内容がある場合はこの「マニュアル設定」をご利用ください。
①「オート設定」で不要なチャンネル（映像）が記憶されたとき
②「オート設定」で記憶させたいチャンネルが記憶されなかったとき
③お好みで受信チャンネルやチャンネル番号、表示番号の組合わせを変更したいとき

マニュアル設定可能な項目について

マニュアル設定可能なチャンネル数は最大３０で、設定可能な項目は以下の３つです。
・受信チャンネル：受信したい放送局
・チャンネル番号：テレビに記憶させる番号
・表　示　番　号：テレビに表示させる番号
※詳細はＰ．１９マニュアル設定をご覧ください。

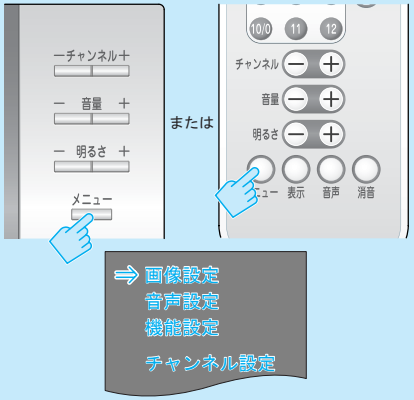
・●・●・おしらせ・●・●・

※「オート設定」では受信可能なチャンネルを前詰で記憶しますので、記憶可能チャンネル数（２９）以上の受信可能チャンネルがある場合には最大２９チャンネルまでしか記憶されません。記憶チャンネルを変更する場合はＰ．１９マニュアル設定をご覧ください。
※「オート設定」ではテレビ電波やアンテナの状況によって、不要なチャンネル（映像）が記憶される場合があります。不要なチャンネルを削除する場合はＰ．１９マニュアル設定をご覧ください。

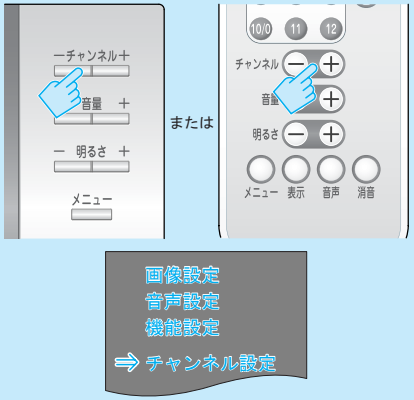
テレビの受信チャンネルを設定する

受信チャンネル設定画面を呼出す

❶メニューボタンを押す
メニュー画面に移ります。

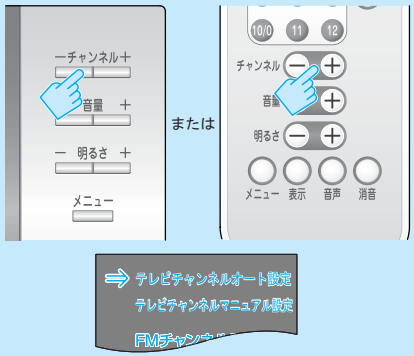


❷チャンネルボタンで「チャンネル設定」を選ぶ
ボタンを押すたびに「⇒」マークが移動します。「⇒」マークを「チャンネル設定」の横に移動させます。

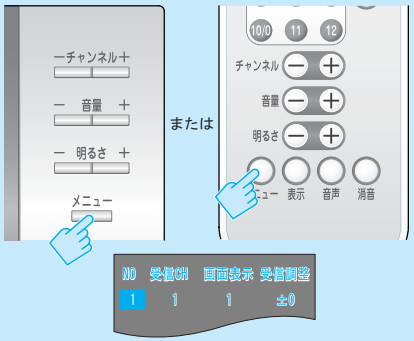


オート設定する

❶チャンネルボタンで「テレビチャンネルオート設定」を選ぶ
ボタンを押すたびに「⇒」マークが移動します。「⇒」マークを「テレビチャンネルオート設定」の横に移動させます。



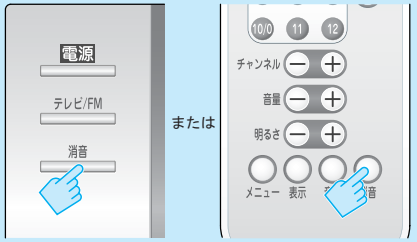
❷メニューボタンを押す
オート設定を開始します。設定終了後は自動でチャンネル設定画面に戻り、受信チャンネル設定完了です。



※自動で設定していきます。

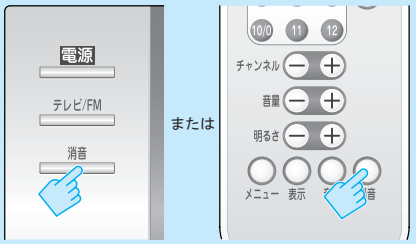
❸メニューボタンを押す
チャンネル設定画面に移ります。

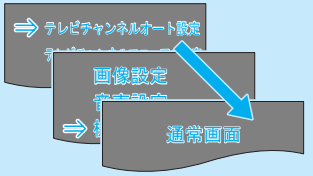
※前の画面に戻るには消音ボタンを押す



◆続けてマニュアル設定しない場合は

❸消音ボタンを２回押す
押すたびに前の画面に戻ります。





•●••●• おしらせ •●••●•

※オート設定中に消音ボタンを押すと、途中まで設定した状態で、チャンネル設定画面に戻ります。

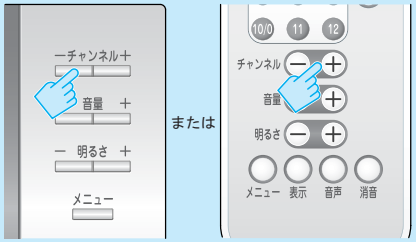
必要なときに

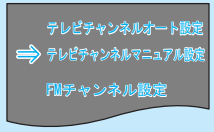
テレビの受信チャンネルを設定する

マニュアル設定する

❶チャンネルボタンで「テレビチャンネルマニュアル設定」を選ぶ

ボタンを押すたびに「⇒」マークが移動します。「⇒」マークを「テレビチャンネルマニュアル設定」の横に移動させます。

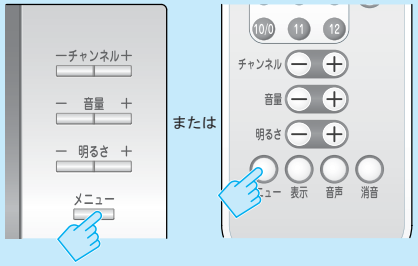


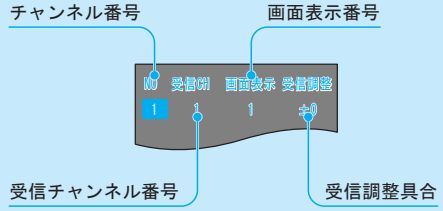


❷メニューボタンを押す

マニュアル設定画面に移ります。設定可能な項目は下表との３つと受信調整です。

チャンネル番号	テレビに記憶する番号
受信チャンネル番号	受信する放送局
画面表示番号	画面に表示する番号

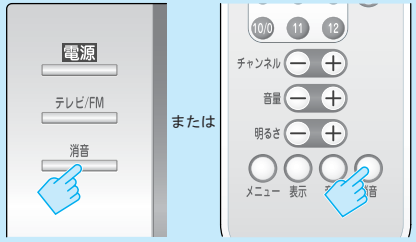


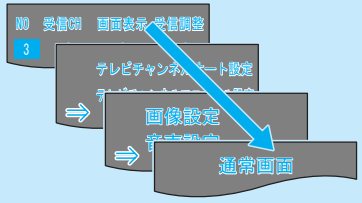


◆マニュアル設定を終了する場合は

❺消音ボタンを３回押す

押すたびに前の画面に戻ります。

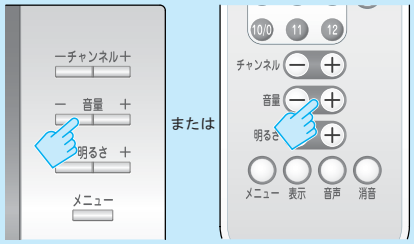


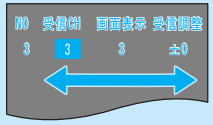


◆設定する項目を選ぶ場合は

❸音量ボタンを押す

反転部がＮＯ⇔受信ＣＨ⇔画面表示⇔受信調整と動きますので、設定する項目を選択します。

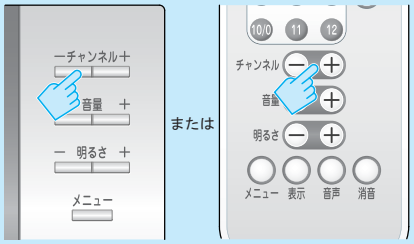


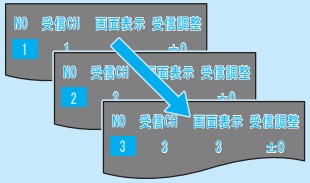


◆選択した項目を変更する場合は

❹チャンネルボタンを押す

反転部の番号が順送りで変化しますので、設定したい番号を選択してください。





•●••おしらせ••●••

※音量ボタン、チャンネルボタンは押しつづけると早送りします。
※チャンネル番号は１～３０まで設定できます。画面には現在設定中の映像が映ります。
※受信チャンネル番号は１～６２⇔Ｃ１３～Ｃ６３⇔ーー（スキップ）⇔１～と変わります。画面には受信チャンネル映像が映ります。
※画面表示番号は１～６２⇔Ｃ１３～Ｃ６３⇔１～と変わります。
※オート設定で記憶された不要なチャンネルを削除するには、受信チャンネルをーー（スキップ）に設定してください。
※受信チャンネル番号でスキップを選択した場合、画面表示番号および受信調整は設定できません。
※設定を途中でキャンセルすることはできません。もとの状態に戻すには変更したところを再度変更してください。
※受信調整は増減させることで受信状態を調整することができるものです。電波状態などで微調整が必要な場合にご使用ください。

ＦＭ放送の受信チャンネルを設定する

●受信設定をする前に・・・・

ＦＭ放送の受信チャンネル（最大１２チャンネル）を設定します。工場出荷時にはＦ１～１２に７６．０
※各放送局の周波数は新聞のラジオ欄に記載されていますので、ご覧になると便利です

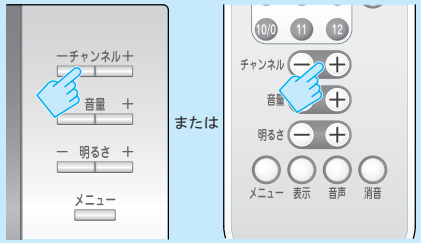
受信チャンネル設定画面を呼出す

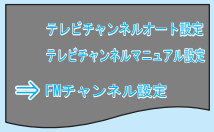
テレビ受信チャンネル設定操作（Ｐ．１７）の操作を行ってください。

ＦＭ放送受信チャンネルを設定する

❶チャンネルボタンで「ＦＭチャンネル設定」を選ぶ

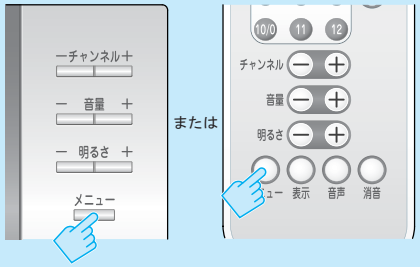
ボタンを押すたびに「⇒」マークが移動します。「⇒」マークを「ＦＭチャンネル設定」の横に移動させます。

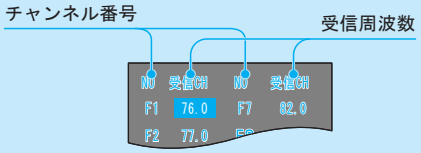




❷メニューボタンを押す

ＦＭチャンネル設定画面に移ります。

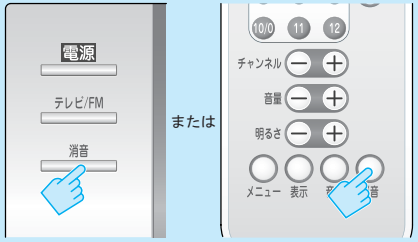


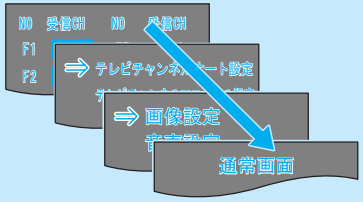


◆ＦＭ放送受信チャンネルの設定を終了する場合は

❺消音ボタンを３回押す

押すたびに前の画面に戻ります。



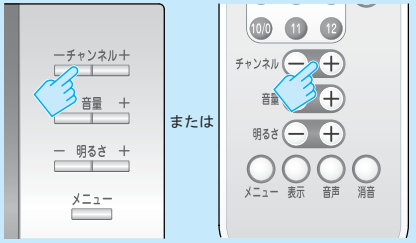


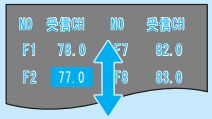
ＭＨｚ～８７．０ＭＨｚが仮設定されています。地域の放送局にあわせ、以下の方法で変更してください。

◆設定するチャンネルを選ぶ場合は

❸チャンネルボタンを押す

押すたびに反転表示が上下しますので設定するチャンネル番号を選択してください。

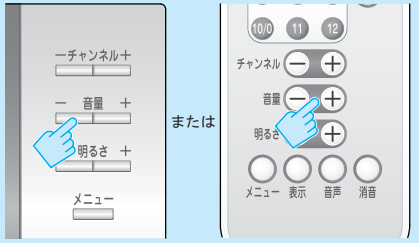


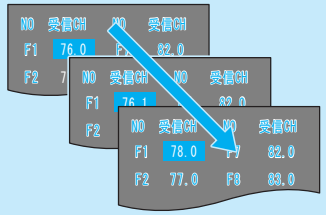


◆選択したチャンネルの周波数を変更する場合は

❹音量ボタンを押す

「＋」「－」を一回押すたびに０．１単位で周波数が増減します。押しつづけると早送りします。新聞のラジオ欄などを参考に放送局の周波数にあわせてください。





●●●●おしらせ●●●●

※音量ボタン、チャンネルボタンは押しつづけると早送りします。
※周波数は７６．０～９０．０⇔ーー（スキップ）⇔７６．０～と変わります。
※不要なチャンネルを削除するには、受信チャンネルをーー（スキップ）に設定してください。
※設定を途中でキャンセルすることはできません。もとの状態に戻すには変更したところを再度変更してください。

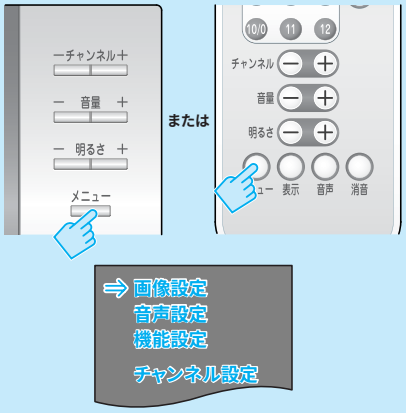
その他の調整をする

メニュー画面よりお好みに合わせてテレビの画質や音声、チャンネル表示切換え、オフタイマー時間、

共通しておこなう作業

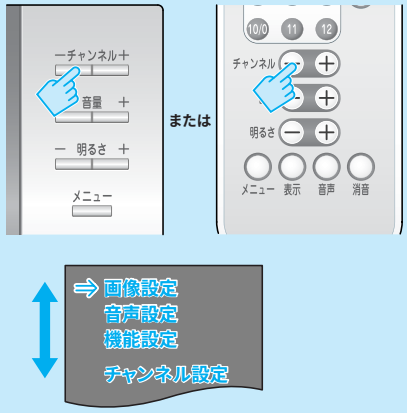
❶メニューボタンを押す

メニュー画面に移ります。



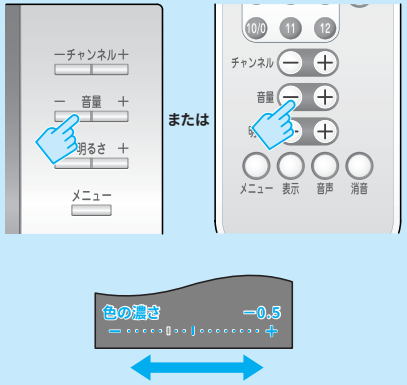
❷チャンネルボタンで設定項目を選ぶ

ボタンを押すたびに「⇒」マークが移動します。
「⇒」マークを設定する項目の横に移動させます。

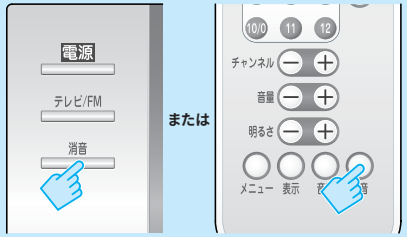


❺音量ボタンを押す

「＋」「ー」を押すと、選択した項目の調整画面が出て、調整ができます。
※▯と数字が現在値をあらわします。
※機能設定では画面は切換わりません。



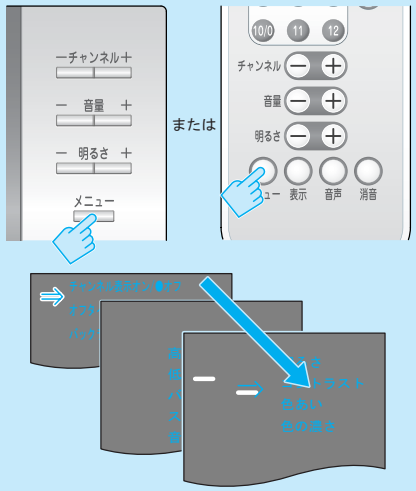
※前の画面に戻るには消音ボタンを押す



バックライト明るさの設定を調整できます。調整できる項目の詳細は一覧表 ☞ P.２５をご覧ください。

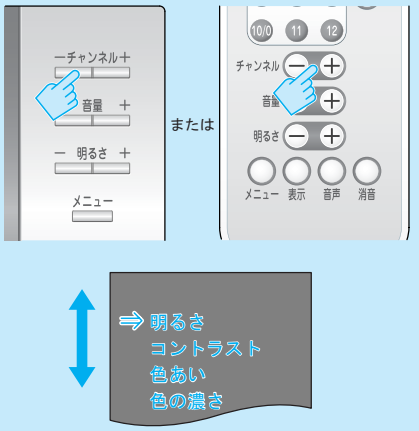
❸メニューボタンを押す

各設定の調整項目画面に移ります。



❹チャンネルボタンで調整する項目を選ぶ

ボタンを押すたびに「⇒」マークが移動します。
「⇒」マークを調整する項目の横に移動させます。



•●••●•おしらせ•●••●•

※約６０秒間操作なしで通常の画面に戻ります。
※調整画面では約４秒間操作なしで調整項目画面に戻ります。
※調整画面ではチャンネルボタンを押すと調整項目画面に戻ります。
※機能設定では調整項目画面での切換えになります。

その他の調整をする

調整できる項目一覧

設定項目 ◆共通操作②で選ぶ	調整項目 ◆共通操作④で選ぶ	調整内容 ◆共通操作⑥で調整する	工場出荷時の設定
画像設定	明るさ	暗く⇔明るく	中間
	コントラスト	弱く⇔強く	中間
	色あい	赤く⇔緑	中間
	色の濃さ	薄く⇔濃く	中間
音声設定	高音	弱く⇔強く	中間
	低音	弱く⇔強く	中間
	バランス	左寄り⇔右寄り	中間
	ステレオ	モノラル/ステレオ切換え	ステレオ
	音声多重	主音声/副音声/主＋副音声切換え	主音声
機能設定	チャンネル表示	オン/オフ切換え	オフ
	オフタイマー設定	オフ～１２０分、１０分単位切換え	１２０分
	バックライト	明/暗切換え	明

•●•●•おしらせ•●•●•

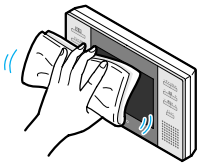
※音声設定のステレオはステレオ放送受信時のみ有効です。
※音声設定の音声多重は音声多重放送受信時のみ有効です。
※ステレオ放送の雑音やステレオとモノラルの切換えが気になるときは、音声をモノラルにすると軽減される場合があります。
※チャンネル表示をオンにするとテレビ画面右上に常時小さくチャンネルが表示されます。
※オフタイマー設定は電源オンしてから自動的に電源オフするまでの時間の設定です。設定でオフを選択すると自動では電源オフしません。
※バックライトは液晶画面全体の明るさを切換えます。全体的に画面が明るすぎる場合などにご利用ください。
※音声設定のステレオ、音声多重はリモコンからも調整できます。詳しくはP．１２をご覧ください。
※機能設定のチャンネル表示はリモコンからも調整できます。詳しくはP．１２をご覧ください。

こんなときは

お手入れのしかた

●きれいな画面を保つには

画面を指で触らないのはもちろん、入浴後、毎日やわらかい布で水滴を拭き取り、水あかがつかないようにしておくのが理想的です。

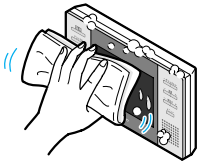


●指紋や水あかがついてしまったら

水でうすめた中性洗剤に布をひたし、固く絞って拭き取り、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。

●石鹸、シャンプーや洗剤などがかかってしまったら

軽く絞った布でよく拭き、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。放置すると水あかや石けんカスなどがつき、画面が見にくくなったり故障の原因となります。



⚠注意

※お手入れの際、画面を強く押したり、強くこすったりしないでください。
画面に傷がついたり、映像に色むらが出たりして、故障の原因となります。

※お手入れの際、スピーカー部を先のとがったもので掃除しないでください。
スピーカーの防水機能が損なわれ、故障の原因となります。

※以下の洗剤、用品などは使用しないでください。
製品に不具合が生じたり、使用方法によっては人体に影響を及ぼすおそれもあります。

- 「酸性」の表示のある洗剤、洗浄剤、漂白剤
- 「アルカリ性」の表示のある洗剤、洗浄剤、漂白剤
- クレンザー（粉末や研磨力のあるもの）
- 薬品（塩酸など）
- 溶剤（シンナー、アセトンなど）
- みがき粉
- ナイロンたわし/金属たわし
- ナイロン不織布/ナイロンネット付スポンジ
- サンドペーパー
- その他先のとがったもの

こんなときは

主な仕様

項　目	仕　様
外　形　寸　法	本体：H１５２×W２５４×D３５㎜、電源ボックス：H４２×W１６５×D８９㎜
定格電圧・周波数	AC１００V　５０/６０Hz共用　（本体DC１２V）
定　格　消　費　電　力	１３W
質　量	本体　７６５g　電源ボックス７００g
使　用　温　度	０℃～５０℃
受　信　チ　ャ　ン　ネ　ル	ＶＨＦ：１～１２、ＵＨＦ：１３～６２、ＣＡＴＶ：Ｃ１３～Ｃ６３、ＦＭ：７
画　面　サ　イ　ズ	６型（H８９．２×　W１２１．９㎜）
表　示　方　式	透過型 TN液晶パネル
駆　動　方　式	TFT アクティブマトリクス方式
画　素　数	２２４，６４０画素（縦２３４×横９６０）
音　声　出　力	ステレオ、モノラル、音声多重
ス　ピ　ー　カ　ー	φ４０×２　防水フルレンジスピーカー
受　信　方　式	NTSC方式（国内専用）
ア　ン　テ　ナ　入　力	２C同軸（７５Ω）　端末処理Ｆ型プラグ
そ　の　他　機　能	切り忘れ防止タイマー
付　属　品　（　同　梱　品　）	リモコン（１個）、リモコンホルダー（１個）、電池（１個）、取扱説明書

●●●●おしらせ●●●●

※浴室テレビに使用している液晶パネルは、非常に高度な技術で作られており。９９．９９%以上の有効画素がありますが、０．０１%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
※ビデオデッキなどを接続するＡＶ端子は備えていません。
※ＢＳ、ＣＳ等のチューナーは内蔵していません。

製品の特長

★浴室テレビ最大クラスの６型液晶ディスプレイ採用
鮮明な画像と自然な色を再現します

★ＦＭ放送受信機能搭載
お湯につかりながら音楽番組などもお楽しみいただけます

★ステレオ２スピーカー採用
テレビもラジオもきれいな音で楽しめます

★ワイヤレスリモコン採用
リラックスしたまま、操作が可能です

★オフタイマー機能採用
設定した時間で自動的に電源がオフされますので消し忘れも安心です

故障かな？と思ったら

現　象	原　因	処　置　方　法
画像が不鮮明、音声に雑音が入る	・アンテナの向きがずれていませんか？ ・山や大きな建物からの反射電波を受けていませんか？ ・高圧線、ネオン、自動車、電車などからの影響を受けていませんか？	アンテナの向き、角度、位置、方向などを調整すると改善される場合があります。お近くの電気店にご相談ください。
画像が尾を引く	本体温度が低くないですか？	本体温度が上がるともとに戻りますので、しばらくお待ちください。故障ではありません。
画面に斑点や縞模様がでる	他の電気製品から雑音電波が出ていませんか？	雑音電波の原因である電気製品等を離してください。
画面が明るい	明るさの調整は適切ですか？	お好みの明るさに調整してください。 （P．１１参照）
画面が暗い	明るさの調整は適切ですか？	お好みの明るさに調整してください。 （P．１１参照）
	浴室内の気温が低くないですか？	本体温度が上がるともとに戻りますので、しばらくお待ちください。故障ではありません。
音が急に小さくなる	スピーカー部の穴に水滴が溜まっていませんか？ ※スピーカー部にシャワーなどをかけると発生します。	布で水滴を拭き取るか、強く息を吹きかけて水滴を飛ばしてください。故障ではありません。 ※穴に先のとがったものは差し込まないでください。
電源が入らない	停電ではないですか？	停電復帰を待ってください。
	ブレーカーは入っていますか？	ブレーカーを入れてください。
リモコンが操作できない	電池は入っていますか？	電池を入れてください。 （P．４参照）
	電池が古くないですか？	電池を交換してください。 （P．４参照）
	電池の向きが間違っていませんか？	電池を正しい向きに入れてください。 （P．４参照）
	リモコンをテレビ本体に向けて操作していますか？	テレビ本体に向けて操作してください。
	リモコン発信部やテレビ本体のリモコン受光部が汚れていませんか？	きれいにしてください。

こんなときは

保証について

- 本製品はお引渡日から１ヵ年保証です。
- この取扱説明書の最終ページが保証書になっています。必ず「お求めの販売店名（または取付工事店名）、取付日」など必要事項の記入をお確かめになり、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お求めの販売店・取付工事店、東陶メンテナンス（株）またはＴＯＴＯお客様相談室にお問い合せください。

修理を依頼されるときは

- もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、なお異常のあるときは、お求めの販売店・取付工事店または東陶メンテナンス（株）に修理をご依頼ください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容により修理いたします。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明な点はお問合せください。

ご依頼の際にお知らせいただきたい内

① ご住所、ご氏名、お電話番号
② 商品名：浴室テレビ（６型）
③ 品番：ＥＫＫ３００２９／ＰＴＺ００１０
④ お取付日
⑤ 故障の内容・異常の状況
⑥ 訪問ご希望日

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）
インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

修理についてのご用命は東陶メンテナンス㈱へ
0120-1010-05
受付時間：関東・甲信越地区 8:00～20:00
：上記以外の地区 9:00～20:00
訪問修理（年中無休）
営業時間：　9:00～18:00

- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後８年です。
  なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

TOTO®

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。表記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買求めの販売店・取付工事店または東陶メンテナンス（株）0120-1010-05に修理をご依頼ください。（ご不明な点は、当社お客様相談室 0120-03-1010にお問い合わせください。）

お客様	おなまえ　様
	おところ〒
お取付店名	おところ〒　㊞ TEL
お取付日	年　月　日

品　名	EKK３００２９／PTZ００１０
保証期間	お引渡日から１ケ年

★お客様へ
この保証書をお受け取りになるときにお取付け年月日、お取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書の注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、表記の期間無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買求めの販売店・取付工事店または東陶メンテナンス（株）にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。
3. ご転居の場合は取扱説明書を確実にお渡しください。
4. 保証期間内でもつぎの場合には有料修理になります。
   イ. 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   ロ. 取付後の移設等に起因する故障及び損傷
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・凍害・その他の天災地変、公害、ガス害（硫化水素ガス）、塩害や異常電圧による故障及び損傷
   ニ. 指定外の燃料・電源（電圧・周波数）の使用及び異常水質による故障及び損傷
   ホ. 砂やごみかみによる不具合及び消耗部品（電球・ヒューズ・乾電池・水栓金具のパッキン及び浴槽排水栓など）の損耗
   ヘ. 取付上の不注意・過失による故障及び損傷
   ト. 維持管理の不備による汚れ・さび・排水の詰まりなどの不具合
   チ. 本書の提示がない場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保存してください。

サービス記録

年　月　日	サ　ー　ビ　ス　内　容	担　当　者

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、当社お客様相談室または東陶メンテナンス(株)にお問い合わせください。

東陶機器株式会社
〒802－8601　北九州市小倉北区中島2丁目1番1号　TEL　093（951）2111